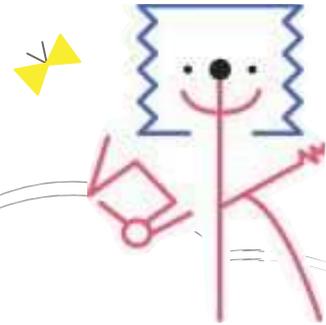
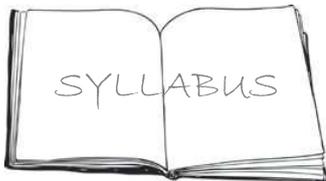




KAGAWA
UNIVERSITY



高校生を対象とした公開授業科目(第1学期) 履修案内(シラバス) ~2020年度版~



「シラバス」とは・・・

シラバスとは、各授業科目の詳細な授業計画のことです。
一般に、授業名、担当教員名、講義目的、
各回ごとの授業内容などが記されており、
学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるものです。



香川大学マスコットキャラクター

【お問い合わせ】

香川県教育委員会 高校教育課 教育指導グループ
〒760-8582 高松市天神前6-1
TEL 087-832-3750 FAX 087-806-0232

香川大学教育・学生支援室学務グループ
〒760-8521 高松市幸町1-1
TEL 087-832-1186 FAX 087-832-1155

※授業内容に関するお問い合わせは香川大学まで。

【公開授業科目(第1学期)】

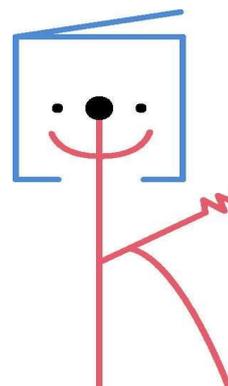
授業科目名	教養/専門(注1)	担当教員	期間(注2)	曜日	時間	頁
現代暗号入門	教養教育	堀川 洋 (創造工学部)	4月16日～6月4日 (計8回)	木	16:20～17:50	1
加工食品の現状と今後の展望	教養教育	小川 雅廣 (農学部)	6月11日～7月30日 (計8回)	木	16:20～17:50	2
歌唱法基礎A	専門教育	若井 健司 (教育学部)	4月16日～7月23日 (計15回)	木	16:20～17:50	3
憲法入門	専門教育	新井 信之 (法学部)	4月10日～7月22日 (計15回)	金	16:20～17:50	4
民法入門	専門教育	齋藤 航 (法学部)	4月14日～7月28日 (計15回)	火	16:20～17:50	5
政治学入門	専門教育	金子 太郎 (法学部)	4月13日～7月27日 (計15回)	月	16:20～17:50	6
法学入門(夜間主コース)	専門教育	春日川 路子 (法学部)	4月10日～6月5日 (1日2回、計15回)	金	18:00～19:30 19:40～21:10	7
経営管理論	専門教育	向 渝 (経済学部)	4月14日～7月28日 (計15回)	火	16:20～17:50	8
経済学入門A(夜間主コース)	専門教育	宇野 浩司 (経済学部)	集中講義 9月7日～9月13日 (計15回)	月～金	18:00～19:30 19:40～21:10	9
				土	10:30～12:00 14:40～16:10	
				日	10:30～12:00 14:40～16:10	
社会と文化(夜間主コース)	専門教育	緒方 宏海 (経済学部)	4月15日～6月3日 (1日2回、計15回)	水	18:00～19:30 19:40～21:10	11

(注1) 香川大学の教育は、特定の専門分野に限定されない幅広い知識・能力を養う「**教養教育(全学共通科目)**」と、専門職業人を養成するための「**専門教育(学部開設科目)**」によって構成されています。
1年次の間は教養教育を中心に、2年次以降は専門教育を中心に学びます。

(注2) 授業スケジュール編成の都合上、一部の授業においては、通常とは異なる曜日に開講したり、休講になったりすることがあります。
詳細は、12～13ページの「2020年度行事予定表」をご参照ください。
(昼間と夜間主コースで授業スケジュールが異なります。お間違えのないようにお願いします。)



大学の授業には、いろんな「気づき」があるよ。
その「気づき」を高校に持ち帰ってみよう。
高校の授業の見方も変わってくるはず！
大学生との交流も良い刺激になるよ！



【第2学期の公開授業(予定)】
・政治思想(専門/法学部)
・環境システム論(専門/経済学部)
このほか、教養教育も充実しています！
追って募集しますので、しばらくお待ちください。

授業科目名 現代暗号入門 Introduction to Modern Cryptography	時間割 4月16日(木)～6月4日(木) 毎週木曜日 16時20分～17時50分(計8回)
担当教員名 堀川 洋	初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分 × 7回 + 講義45分 × 1回 + 自学自習	
授業の概要 【キーワード】 暗号、情報セキュリティ 高度情報化社会において情報セキュリティは必須の技術である。本授業では、コンピュータネットワーク・インターネットで使用されている暗号技術について学ぶ。毎回演習問題を解くことによって理解を深める。	
授業の目的 授業計画に挙げた各項目：暗号の基礎、秘密鍵暗号、公開鍵暗号について理解する(共通教育スタンダード「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)ことを目的・達成目標とする。	
到達目標	
暗号の基礎、秘密鍵暗号、公開鍵暗号についての基礎的な問題が解ける。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
授業計画に挙げた内容について説明を行った後、演習問題を解いてもらう。そして、毎回それをレポートとして提出してもらう。各回で学んだ内容については自学自習によりきちんと整理し参考書などを参照して理解を深めること。 (1) 暗号の基礎 (2) 秘密鍵暗号(S-DES) (3) 秘密鍵暗号(DES) (4) 公開鍵暗号(RSA暗号) (5) 公開鍵暗号(ElGama1暗号) (6) ガロア体と楕円曲線 (7) 公開鍵暗号(楕円曲線暗号) (8) 授業のまとめ+試験	
教科書・参考書等 特に指定しない。 「暗号」、「情報セキュリティ」をキーワードとして検索してみると良い。図書館に数多くの参考書がある。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業の資料は香川大学Moodleに置いている。	

授業科目名 加工食品の現状と今後の展望 Present and Future of Processed Foods	時間割 6月11日(木)～7月30日(木) 毎週木曜日 16時20分～17時50分(計8回)
担当教員名 小川 雅廣	7月23日(木)は祝日ですが、授業があります。 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分 × 7回 + 講義45分 × 1回 + 自学自習	
授業の概要 【キーワード】食品問題 この授業では、現代社会における加工食品の問題点をテーマとして取り上げる。21世紀に生きる私たちが食品に求めるものは何ですか。1) 安心安全ですか、2) おいしさですか、3) 低カロリーですか、それとも4) 健康改善効果ですか。ここに挙げた4つの事柄について講義する。また、講義で提供した知識をもとに、食品の問題点と今後求められる食品について、消費者と製造者の両方の視点から、グループディスカッションを行いながら考えていく。また、香川県で行われている食品展開についても紹介する。	
授業の目的 私たちの身の周りには様々な加工食品がある。栄養補給を主目的とした食品、栄養よりもおいしさを追求した食品、健康を意識した食品など。これらの食品のニーズは社会情勢や経済情勢によって変わる。21世紀に入り少子高齢化が急速に進むなかで、現在の食品における諸問題を認識できるようにするとともに、消費者はこれからどのような特徴(機能)をもった食品を求めていくのか? 食品の製造者はどのような発想で食品を開発していくべきなのか? など、今後の対応策を科学的な根拠をもとに考える力を身につけるようにする(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能力」に対応)。	
到達目標	
1. 21世紀社会の加工食品の現状と課題を説明することができる。 2. 現代の食品がもたらす諸問題の解決に向けた自分の考えを論理的に述べることができる。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
【授業計画】 第1週 加工食品の問題点 第2週 食品の栄養とカロリー 第3週 おいしさの要素とは 第4週 加工の重要性と課題 第5週 食品添加物の功罪 第6週 トクホ・機能性表示食品とは 第7週 香川の食品展開 第8週 まとめ(45分間授業) 【授業及び学習の方法】 授業は講義中心に進めますが、受講生の理解を助けるため適宜グループワークを取り入れます。また、各週の授業の終盤にミニレポートを課し、講義で学んだ内容及び自ら学んだ内容の整理を促します。また、授業外では、加工食品のパッケージを入手してもらい、そのパッケージの記載内容をまとめてきてもらいますので、事前準備をしっかり行ってください。 【自学自習のためのアドバイス】 講義で提供された加工食品に関する知識をさらに深めるために、図書館の資料や中央省庁(厚生労働省、農林水産省、消費者庁など)のURLで公開されている情報を入手して調べてください。調べた内容をまとめることにより、食品についてより深い知識を身につけてください。	
教科書・参考書等 特に指定しない。参考書は必要に応じて適宜紹介する。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 初回到履修に関する説明・注意を行います。ミニレポート、期末レポート未提出の場合は単位認定しない。	

授業科目名 歌唱法基礎 A Fundamentals of Vocal A	時間割 4月16日(木)～7月23日(木) 毎週木曜日 16時20分～17時50分(計15回)
担当教員名 若井 健司	7月23日(木)は祝日ですが、授業があります。 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義・演習・実技×15回+自学実習	
授業の概要 歌唱指導に必要な正しい発声の基礎を理解し、各自の自然な声を見い出させるために、声を使った多種多様な表現を実践する。日本語の発音を再認識し、美しい母音が必要な基礎的イタリア歌曲を中心に歌唱体験を進めていく。 さらに教材として、身近な郷土に伝わる日本民謡・わらべうた等を取り上げ、日本古来の旋法になじませながら、その歌唱表現についての実践研究を行う。	
授業の目的 ①初等教育に必要な声を使った表現、歌唱指導に必要な基礎的発声・歌唱技術を習得する。 ②身近な環境から生まれ、伝わってきた日本古来からの歌を再認識し、伝統的な音楽の歌唱表現を学ぶ。 ③言葉による表現を多彩に使用できるようにし、声を使ったコミュニケーション術を学ぶ。	
到達目標	
1, 初等教育の教師として、必要な声量を身につけるようにしよう。 2, 歌唱教材を自信を持って歌唱できるようにしよう。 3, 伝統的な音楽の唱法を身につけよう。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
実技練習を加えた演習形式 (1)オリエンテーション (2)言葉と音楽の結合① (3)言葉と音楽の結合② (4)呼吸法① (5)呼吸法② (6)朗読劇① (7)朗読劇② (8)朗読劇③ (9)歌唱の実践① (10)歌唱の実践② (11)歌唱の実践③ (12)イタリア歌曲の実践① (13)イタリア歌曲の実践② (14)イタリア歌曲の実践③ (15)授業のまとめ (16)定期試験	
教科書・参考書等 テキストをこちらで用意します。 必要に応じて、指示する。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ AとBは、必ず同一年度に連続して履修すること。2年生及び1年生履修可能	

授業科目名 憲法入門 日本国憲法の誕生とその法理について Birth of Japanese Constitutional Law and Its Jurisprudence	時間割 4月10日(金)～7月22日(金) 毎週金曜日 16時20分～17時50分(計15回) ただし、5月8日(金)は振替授業で火曜日の授業になりますので、授業はありません。7月22日(水)は振替授業で金曜日の授業になりますので、授業があります。
担当教員名 新井 信之	初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分×15回+自学自習	
授業の概要 本講義は、日本国憲法を学ぶ入門科目としての総論部分および平和主義について解説をおこないます。とくに、日本国憲法の制定過程におけるさまざまな議論に注目して、近代立憲主義憲法の基本原理やわが国の憲法の特長について考えていきます。近代立憲主義の基本原則や日本国憲法誕生の歴史的経緯について検証し、「人間人格の尊厳」を至上価値とする日本国憲法の基本構造と平和主義の変遷について、教科書や視聴覚教材等を活用して授業を進めていきます。	
授業の目的 本講義は、この国の最高法規である日本国憲法を視点として国家・社会の基本的な枠組みとともに平和・国際協調主義についての知識と法的思考方法を習得することを目的とします。1.法学部で憲法を学んでいくための基本的な知識を習得し、昨今の憲法改正の動きに対して、主権者として責任ある判断をすることができる。2.現代社会における諸問題を解決するための法的知識と法的思考能力を習得することができる。3.法的な視点から現代国家と社会を幅広くリテラシー(読み解く)することができる。	
到達目標	
①歴史的かつ地理的に視野を広げて、政治、経済、歴史・国際政治の問題をとらえられるようになること。 ②読書の習慣を始めること。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
【授業の方法】 本講義は、日本国憲法を取り巻くさまざまな社会状況の変化とその対応について、どのように解決が図られていくべきかを自ら考えて判断するために、ビデオ等の視聴覚教材を活用するメディア・リテラシーの教育手法をとりいれて、憲法問題についての基本的な認識能力を高めていきます。	
【授業計画】 第1回 近代立憲主義憲法と現代社会(1) 第2回 近代立憲主義憲法と現代社会(2) 第3回 近代立憲主義憲法と現代社会(3) 第4回 日本国憲法の誕生と民主国家への道程(1) 第5回 日本国憲法の誕生と民主国家への道程(2) 第6回 日本国憲法の誕生と民主国家への道程(3) 第7回 日本国憲法の誕生と民主国家への道程(4) 第8回 日本国憲法の誕生と民主国家への道程(5) 第9回 個人の尊厳と日本国憲法の基本構造(1) 第10回 個人の尊厳と日本国憲法の基本構造(2) 第11回 個人の尊厳と日本国憲法の基本構造(3) 第12回 国民主権と象徴天皇制(1) 第13回 国民主権と象徴天皇制(2) 第14回 平和憲法の理念と日本社会の普遍的陸標(ランドマーク)(1) 第15回 平和憲法の理念と日本社会の普遍的陸標(ランドマーク)(2)	
【自学自習に関するアドバイス】 1. 毎回授業のまとめとして提出する小テストの設問について、教科書等を参考にして引き続き自らの考えを発展させ、次回の授業に臨むこと。(次回授業の初めに「憲法フォーラム」として受講者の意見を紹介するが、そこでの議論に参加できるようにしておくこと。) 2. 自らが授業で見つけた法的な問題について、自由研究レポートを作成・提出してもよい。 3. 裁判所見学(裁判の傍聴)等を各自で実施し、その内容をまとめて自由研究レポートとして提出してもよい。	
教科書・参考書等 教科書：新井信之著『日本国憲法から考える現代社会・15講—グローバル時代の平和憲法』(有信堂、2015年)	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業は、単なる知識の伝達ではなく、包括的な人間教育の場であることを自覚して参加するよう学生諸君に求めます。(なお遅刻は15分を過ぎた場合、欠席とみなします。)	

授業科目名 民法入門 Introduction to Civil Law	時間割 4月14日(火)～7月28日(火) 毎週火曜日 16時20分～17時50分(計15回)
担当教員名 齋藤 航	初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分×15回+自習(準備学習30時間+事後学習30時間)	
授業の概要 民法は社会経済活動において最も基本となる法律であり、人々の生活上・経済活動上の問題を解決するために存在している。さらに、商法や労働法など他の民事法を学ぶうえでも不可欠な法律である。本講義では、事例を示しながら、民法の中でも特に重要な条文や概念の意味を説明する。	
授業の目的 民法の規定はどのような場面で機能するかを理解し、今後の民法学習において基礎となる知識を身につけることを目的とする。	
到達目標	
①民法における基本的な条文や概念の意味を説明できるようになる ②簡単な事例問題に対して、民法を適用して問題を解決することができるようになる	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
第1週 ガイダンス・民法の概要 第2週 私的自治とその制限 第3週 法律行為と意思表示 第4週 債務不履行とその救済手段 第5週 契約の意義と契約類型 第6週 契約不適合責任と賃貸借契約 第7週 不法行為 第8週 債権の消滅と債権譲渡 第9週 債権の担保(人的・物的担保) 第10週 権利の主体と物 第11週 物権の意義 第12週 所有権の取得方法 第13週 物権変動と不動産の二重譲渡 第14週 離婚と親子関係不存在 第15週 相続の意義と相続分・遺留分	
教科書・参考書等 潮見佳男『民法(全)[第2版]』(有斐閣、2019年)。その他の参考書等は初回授業で紹介する。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 必ず紙の六法を持参すること。毎回レジユメを配布する。	

授業科目名 政治学入門 Introduction to Political Economy and History	時間割 4月13日(月)～7月27日(月) 毎週月曜日 16時20分～17時50分(計15回)
担当教員名 金子 太郎	初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分×15回+自学自習(相当の読書量を必要とする)	
授業の概要 現在の日本では様々な自由(信教の自由、思想・信条の自由、報道の自由など)が認められていて、不正なく普通選挙が行われています。この2つの条件を満たしている国を「自由民主主義(リベラル・デモクラシー)」の国と言います。また、現在の日本は経済活動においては市場経済を基本に経済運営を行っている資本主義体制の国です。自由民主主義や資本主義は皆さんにとっては空気のように「あって当たり前のもの」かもしれませんが、歴史的、地理的な広がりを持って世界史を見てみると、全然そうではありません。どういう歴史的経緯で人類がこれらの政治制度、経済体制を持つようになったかを知ることは非常に重要です。 この講義では、近代市民革命(イギリスのピューリタン革命・名誉革命、アメリカ独立革命、フランス革命)の時代から人類がどのような歴史の経緯を経て、これらの政治制度、経済体制を得ていったかを考えてみましょう。同時に地理的にも広く現在の世界を見てみましょう。世界には自由民主主義、資本主義の国はどれくらいあるでしょう?意外と少ないことに気がつくはずですよ。 皆さんが歴史的かつ地理的に視野を広げて政治、経済、歴史、国際政治の問題を考察する視野を持てるようになることがこの講義の目標です。 そういう視野を持って、現在の日本が直面している問題についても考えてみましょう。	
授業の目的 ①歴史的かつ地理的に視野を広げて、政治、経済、歴史・国際政治の問題を考察できるようになること。 ②読書の面白さを感じて欲しい。	
到達目標	
①歴史的かつ地理的に視野を広げて、政治、経済、歴史・国際政治の問題をとらえられるようになること。 ②読書の習慣を始めること。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
第1回 近代以前の統治(強者の支配)と近代市民革命 第2回 19世紀 自由主義 第3回 19世紀 資本主義経済の発展、帝国主義、社会主義、共産主義、ナショナリズム 第4回 つづき 第5回 つづき 第6回 20世紀 戦争と革命の世紀 第7回 第1次世界大戦 第8回 つづき 第9回 戦間期 第10回 つづき 第11回 第2次世界大戦 第12回 日中戦争、アジア・太平洋戦争 第13回 つづき 第14回 つづき 第15回 まとめ 講義中にかなりの数の課題図書を指定するので、読んで欲しい。大学の勉強は「講義を聴いて試験でそれを答案に書けばいい」という受動的なものだけではない。自ら読書をする習慣を大学1年生の前期から身に付けて欲しい。また、読書が結構面白いものだと感じて欲しい。	
教科書・参考書等 半藤一利『昭和史 1926-1945』(平凡社文庫)は講義中にも読むので必ず購入すること。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 試験は課題図書を持ち込み可にする予定だが、事前によく読んで、どこに何が書いてあったかを覚えておかないと解けない問題が出るので、3ヶ月半ほどで課題図書をよく読んでおいて欲しい。読書計画を自分で立てて実行して下さい。	

授業科目名 法学入門(夜間主) Introduction to law	時間割 4月10日(金)～6月5日(金) 毎週金曜日 18時00分～19時30分 19時40分～21時10分(1日2回、計15回)
担当教員名 春日川 路子	ただし、5月8日(金)は、振替授業で水曜日の授業になりますので、授業はありません。 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分×15回+自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)	
授業の概要 この授業では、憲法、民法、刑法をはじめとする一般的な法学部で科目として学ぶことになる種々の法律について概説します。またあわせて、法律学の基礎的な事項も紹介します。 授業は、教科書、レジュメ、スライドを用いて行います。	
授業の目的 種々の法律の種類とその内容、ならびに法律学の基礎的な事項を知り、それらを与えられた課題を踏まえて説明できるようになる。	
到達目標	
1. 法律の種類とその内容、ならびに法律学の基礎的な事項を列挙できる。 2. 法律の種類とその内容につき、与えられた課題を踏まえて説明できる。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
授業の進捗等により、計画を変更する場合があります。 第1回 ガイダンス、この授業で取り扱う法について 第2回 法を学ぶこと 第3回 国家と憲法 第4回 行政と法 第5回 裁判制度 その1 第6回 裁判制度 その2 第7回 財産と法 第8回 契約と法 第9回 損害賠償 第10回 家族と法 第11回 経済と法 第12回 犯罪と法 第13回 仕事と法 第14回 国際社会と法 第15回 新しい法分野、授業のまとめ 【自学自習のアドバイス】 事前学習として、教科書や参考書の該当箇所を読んで授業に臨むこと。ページや取り扱う内容については適宜指示する。事後学習として、教科書や参考書の取り扱った範囲および配布された資料を再度読む、授業で紹介された文献を探して目を通すとよい。授業の直後だけでなく日頃から教科書や配布資料、参考書等を用いて学習した内容を複数回確認するとよい。	
教科書・参考書等 奥田進一・高橋雅人・長友昭・長島光一編著『法学入門』(2018年、成文堂) ¥1,500+税に基づいて授業を行う。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 法律学に慣れ大学で学ぶ習慣を身につけるために、できる限り授業には出席してほしい。	

授業科目名 経営管理論 Management and Administration	時間割 4月14日(火)～7月28日(火) 毎週火曜日 16時20分～17時50分(計15回)
担当教員名 向 滄	初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分×15回+自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)	
授業の概要 本講義は初めて経営学を学ぶ学生を対象として、企業経営の全体像は何か、経営学の全体像は何か、経営学を学ぶ意義は何か、経営学をどのように勉強すればよいか、などを説明する導入科目である。 経営学各分野の諸理論と企業経営の実例を紹介しながら、経営学の概要を分かりやすく講義したい。	
授業の目的 経営学と企業経営の全体像を理解してもらうのが本授業の目的である。	
到達目標	
1. 企業と経営の仕組みについて自分の言葉で語ることができる。 2. 企業経営の実際を考察する際に必要な基本的な考え方を身に付ける。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
授業は基本的にパワーポイントを使った講義形式で進める。また、ビデオなどの視聴覚教材も適宜使用する。受講生は日頃から『日本経済新聞』や『日経ビジネス』『週刊ダイヤモンド』などのビジネス雑誌に目を通し、企業の経営動向について観察する習慣を付けてください。	
第1回 インTRODakション 第2回 企業経営の全体像 第3回 経営学の全体像 第4回 企業と会社 第5回 企業とインプット市場との関わり 第6回 企業とアウトプット市場との関わり 第7回 競争戦略のマネジメント① 第8回 競争戦略のマネジメント② 第9回 多角化戦略のマネジメント 第10回 国際化のマネジメント 第11回 マクロ組織のマネジメント 第12回 ミクロ組織のマネジメント 第13回 キャリアデザイン 第14回 経営学の広がり① 第15回 経営学の広がり② *進捗状況などに応じて、授業計画を変更する場合がある。 【自学自習に関するアドバイス】 講義前・講義後には、テキストの関連内容について各1時間程度予習・復習をしてください。	
教科書・参考書等 加護野忠男・吉村典久(2012)『1からの経営学(第2版)』碩学舎。2,400円+税 (教科書は、受講生が各自で入手すること。)	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業中の私語と携帯電話の使用を慎むこと。	

【応用】

1. 授業で学んだ知識を用いて考察可能な現象/問題に対して「問い」を立てることができる。
2. 分析したい状況を表現できる。
3. 表現した状況の理論予測として適切な解・均衡を導出できる。
4. 分析結果によって、立てた「問い」に対して「答え」を与え、それを明確に主張できる。
5. 以上を文章で表現し、読者（他の受講生と教員）にわかりやすく説得力をもって伝えられる。

授業計画並びに授業及び学習の方法**【授業計画】**

次のトピックについて講義をします。

1. 経済学はどのような学問か
2. ひとりの意思決定
3. 戦略的環境での意思決定
4. 分業と取引の利益
5. 競争市場
6. 不完全競争市場
7. 外部性のある財の市場
8. 公共財の市場
9. 情報の非対称性のある市場

なお、進捗状況により、トピックの増減の可能性があります。

【授業および学習の方法】

・授業：プロジェクタと板書を利用して解説を行う。

・授業外学習：各授業後にMoodleで出題される課題をこなし、理解を確認し、それを社会・経済・身の回りで応用できるようにする。また課題を履修者が相互に評価しあうことで、自他の理解を深め、分析を改善する。

教科書・参考書等

講義内容は次の参考書に依拠する部分が多い。

- ・安藤至大(2013)『マイクロ経済学の第一歩』有斐閣。
- ・伊藤秀史(2012)『ひたすら読むエコノミクス』有斐閣。
- ・クルーグマン、ウェルス(2017)『クルーグマン マイクロ経済学 第2版』東洋経済。
- ・八田達夫(2008)『マイクロ経済学I, II』
- ・天谷研一(2011)『図解で学ぶゲーム理論入門』日本能率協会マネジメントセンタ

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

Moodleにて授業資料を公開したり、課題や期末レポートを出題・提出を行ったりする予定です。各自、アクセスできるようにしておいてください。

授業科目名 社会と文化 Society and Culture	時間割 4月15日(水)～6月3日(水) 毎週水曜日 18時00分～19時30分 19時40分～21時10分(1日2回、計15回) 4月29日(月)は祝日ですが、授業があります。 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(14ページ参照)にお越しください。
担当教員名 緒方 宏海	
学習時間 講義90分×15回+自学自習	
授業の概要 近年人文・社会科学全体で、多様な「社会」と「異文化」研究に対する関心が高まっている。この授業では、人類学と社会学において、これまで「社会」と「文化」をめぐるなされてきた議論のうち、特に重要と思われるものを講義する。 この授業では、民族、宗教、ジェンダー、グローバリゼーションなど、現代社会を理解する上で不可欠なテーマについて、文化人類学や社会学をはじめとする人文社会科学の文脈の中でいかに探求されてきたのか、その研究蓄積を学ぶことで、アジアの多様性を理解すると共に、異文化・社会に対する眼差しを養うことを目指す。	
授業の目的 本講義では、異文化理解を主目的とする人類学的視覚から人間の社会や文化を考察し、異文化理解の視点を養うことを目的とする。また「社会」を主な研究対象として、その仕組みやはたらきを研究してきた社会学的研究のうち、特に重要と思われる概念についても講義をする。 学生諸君が、人類学と社会学における基本的な社会の捉え方、文化の多様性を理解した上で、常識に捕われずに自ら考え、建設的な問題意識と多角的な視野を持てるように、人類学と社会的なものの方、考え方を習得する。	
到達目標	
1. 文化人類学の基本的考え方、および社会学と日本民俗学の基本概念を習得する。 2. 文化を、静態的、個別的に考えるのではなく、異なる文化との遭遇を通して、どのように変化してゆくかを、歴史的に、複合的に考え・説明することができる。 3. アジア諸国の生活様式の違い、価値観の違いから起こる諸問題を捉え、解決へ導く視点・考察力を身につける。	
授業計画並びに授業及び学習の方法	
第1回 社会とはなにか？個人を拘束する社会 第2回 言語と文化 第3回 人類学と社会学の仕事 第4回 人種概念の成立過程と展開 第5回 民族の現代性 第6回 文化的他者と社会の見方 第7回 ジェンダーとセクシュアリティ 第8回 冥婚・事実婚・同性婚・一夫多妻婚—さまざまな婚姻のかたち— 第9回 血のつながりと「親子の関係」、祖先のつくり方—世界の家族と親族— 第10回 宗教と世界観 第11回 アジアへの視角：「アジア」とはなにか？ 第12回 沖縄の歴史・文化をとらえる—琉球王朝の神事久高島のイザイホー— 第13回 チベットの宗教・文化にアプローチする—チベット死者の書— 第14回 東アジアの自然観と風水地理説 第15回 グローバリゼーションの中の国家、社会、文化を捉える	
教科書・参考書等 ハンドアウトを配布する。参考文献は講義時に適宜紹介する。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業中にリアクション・ペーパーの執筆を課すことがある、出席を堅持すること。 授業で紹介する参考文献をもとに自主的に研究するよう努めてください。	

令和2年度行事予定表（法・経済学部夜間主コース）

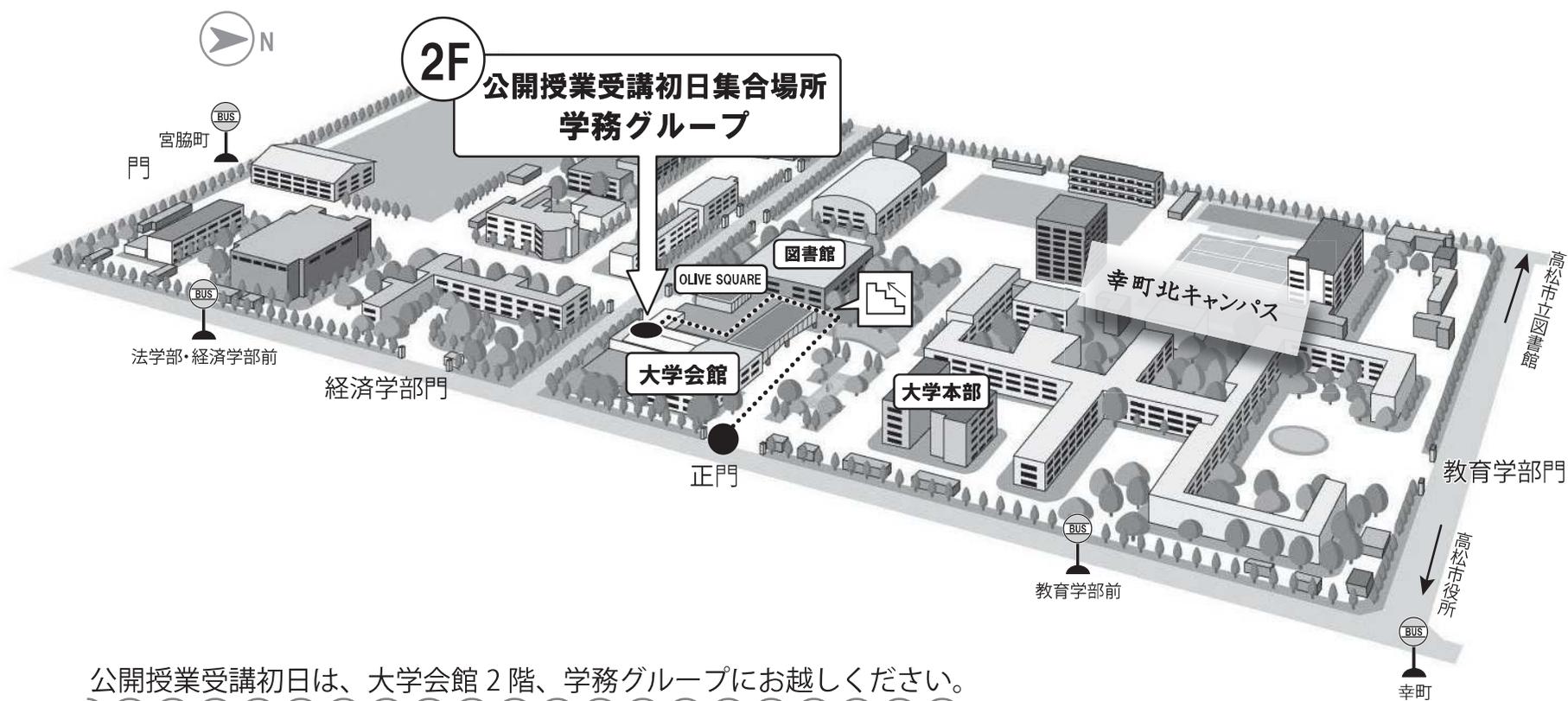
第1学期

第2学期

第1学期							第2学期								
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
4月			1 第1学期開始	2	3 入学式・ガイダンス (毎年4/3)	4	10月				1 第2学期開始 大学記念日	2 授業開始(第2学期・第3クォーター)	3 新入外国人留学生 ガイダンス		
5	6 新入生ガイダンス	7 新入生修学相談会	8 新入生修学相談会 新入外国人留学生 ガイダンス	9 定期健康診断 新入生修学相談会 新入生歓迎祭	10 授業開始(第1学期・第1クォーター)	11	4	5	6	7	8	9	10		
12	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17		
19	20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23	24		
26	27	28	29 授業日(水)	30	1	2	25	26	27	28	29	30 前夜祭 (臨時休業)	31 大学祭		
5月	3	4	5	6	7	8 振替授業(水)	9	11月	1	2 大学祭撤収日 (臨時休業)	3	4 振替授業(月)	5	6	7
10	11	12	13	14	15	16	8	9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	15	16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	22	23	24	25	26	27	28	29	30
6月	31	1	2	3	4	5	6	12月	29	30	1	2	3 授業開始(第4クォーター)	4	5
7	8	9	10 授業開始(第2クォーター)	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
14	15	16	17	18	19	20	13	14	15	16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27	20	21	22	23	24	25 冬季休業~1/7	26	27	28
7月	28	29	30	1	2	3	4	27	28	29	30	31	1	2	3
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22 振替授業(金)	23 授業日(木)	24	25	17	18	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1	24	25	26	27	28	29	30	31	1
8月	2	3	4	5	6 夏季休業~9/30 オープンキャンパス オーブンキャンパス(看護学科)	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
9	10	11	12	13	14	15	10	11	12	13	14	15	16	17	18
16	17	18	19	20	21	22	7	8	9	10	11	12	13	14	15
23	24	25	26	27	28	29	14	15 振替試験(木) 振替授業(木)	16	17	18	19	20	21	22
9月	30	31	1	2	3	4	5	2月	31	1	2	3	4	5	6
6	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11 春季休業~3/31 入試会場設営	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24 入試会場設営	25	26	27	28
27	28	29	30 第1学期終了	9/17~9/24 13時まで (抽選)	履修登録予備日	30 第1学期終了	28	29	30	31 第2学期終了	1 入学者選抜試験(前期) 医学科のみ26日まで	2	3	4	5

(注1) 4/29(水・祝)及び7/23(木・祝)を授業日、8/10(月・祝)を授業・定期試験予備日とする。
 (注2) 土曜日の授業予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業に限り、補講を実施するものとする。

香川大学幸町キャンパスマップ



高校生を対象とした公開授業及び体験授業に係る受講生・保護者連絡先

受講生氏名	
受講生電話番号	
受講生メールアドレス	
保護者氏名	
保護者連絡先	

香川大学から受講決定の通知がありましたら、受講初日にこの用紙と受講料をお持ちください。（公開授業は1科目につき、「15及び16回の授業は2,300円」、「8回の授業は1,800円」。体験授業は無料。）

なお、上記の個人情報は、香川大学が高校生対象公開授業及び体験授業の実施に当たり必要な範囲において利用させていただきます。それ以外の目的に利用することはありません。